
桃太郎かもしれない

五月雨

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

桃太郎かもしれない

【Nコード】

N0807X

【作者名】

五月雨

【あらすじ】

ハッピーエンドまでリセット&ロード。

（前書き）

むかしむかしの物語。

この物語は、ハッピーエンドまで終わりません。

むかしむかし、あるところに

おばあさん：桜田 梅（さくらだ うめ

おじいさん：桜田 清照（〃 きよてる

が、すんでいました。

おじいさんとおばあさんは芝刈りに仲良く出かけていきました。

そのころ川に桃が流れているのを金太郎が見つけました。

その場で握りつぶしたら、果汁と一緒に赤い赤い液体が流れ出てきました。

どうしたものかとあせった金太郎は、

桃を川に投げ捨てましたとさ。

2

おじいさんとおばあさんは、

二人で仲良く川に洗濯に行きました。

すると、桃が流れてくるではありませんか！

「あら、大きな桃。」

「本当だ、すごく大きいね。」

「でも、桃は嫌いだから、あんなにあっても仕方ないわね」

・・・スルーしましたとさ

3

おじいさんは山に芝刈りに

おばあさんは、川に洗濯に。

すると竹が光っているではありませんか！

おじいさんは光る節の部分をわって開けてみました。

そこにはちいさくて可愛い女の子が・・・

4

おじいさんとおばあさんは病気でねていましたとさ。

5

おじいさんは銀行強盗へ

おばあさんは暴力団の集会へ行きました。

するとおばあさんは、街中で桃を見つけました。

「まあ、大きな桃ね。誰か勇気のあるものはアレを盗ってきなさい」
おばあさんは暴力団の総長でした。

おじいさんはつかまりました。

6

おじいさんとおばあさんが起きるとそこに桃がありました。

「なんだろうね、これ。」

「うーん、何でしょうね。」

ボケていて分かりませんでしたとさ。

7

桃がある

おじいさんとおばあさんはそれに気がつきませんでした。

8

桃を食べました。

中身を捨てていたせいで気がつきませんでした。

9

桃を買ってきました。

すると、桃を突き破って子供が出てきました。

「やあ、僕は桃太郎。」

「桃をどうしてくれたんだあああああああ！！！！！！」

1
0

桃太郎がいました。

鬼退治に行きました。

鬼にやられて死にましたとさ。

11

鬼退治に行きました。

黍団子を忘れたせいで仲間はいないので、寂しさで死にました。

1
2

鬼退治をしました。

宝物を船に積むと

沈みましたとさ。

13

おじいさんはいません。

2年前、鬼に殺されました。

おばあさんは一人、寂しく編み物をしていました。

いつもと同じ朝日がさします。

おばあさんの頬に涙が流れました。

14

桃太郎は英雄でした。

なぜなら鬼退治をしたから。
でも今は違います。

なぜなら宝をうばって逃走し、今は鬼が島に移り住み
「本物の鬼」
と、呼ばれているからです。

15

桃太郎は、鬼退治に成功して
奪われた宝を持ち帰りました。
村人に、再び幸せが訪れました。

『そんなつまらない物語認めないわ』
村に響くその声は
いったい誰のものでしょうか。

めでたしめでたし。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0807x/>

桃太郎かもしれない

2011年10月9日15時54分発行